

小・中学生の学びの場を守る オンラインでの 学習指導環境を整備



総社東小学校で9月9日、オンラインでの学習指導を開始

市内の小学校・放課後児童クラブで複数の児童の新型コロナウイルス感染が確認されたことを受け9月5日、市役所で臨時の校園長会を開催しました。オンライン含め、市内小・中学校や幼稚園、認定こども園の全校長・園長37人が参加。今後の方針や感染症対策の強化などについて協議しました。

市ではこれまで、市内の小・中学生約6000人に1人1台の端末を導入するなど、ICT教育の環境整備を進めてきました。9月1日以降、感染拡大による長期休校に備え、小学校高学年と中学生が接続テストを実施。端末やルーターを持ち帰り、自宅からWEB会議システムへの接続を確認しました。また、児童の感染により休校した学校では、実際にオンラインでの学習指導を実施しました。引き続き、全学年の児童・生徒が自宅で学習支援を受けられるよう準備していきます。

問い合わせ 学校教育課
(☎8358)

市内で新型コロナワクチンの接種進む

6割以上の市民が接種完了

市では、5月17日から65歳以上の人へ、7月1日から64歳以下の人へ新型コロナワクチンのワクチン接種を開始。集団接種や医療機関での個別接種、職場での職域接種などを進めてきました。7月15日から9月12日まで、市民会館を会場に大規模集団接種も実施。1日最大2000人程度に接種を行いました。

9月7日時点で、市民の69.2%に当たる4万8301人が、1回

目の接種を完了。そのうち、61.9%に当たる4万3175人が2回目の接種を終えました。ワクチンには発症や重症化を予防する効果があります。感染を予防する効果も期待されていますが、接種後も感染防止策を継続してください。今後は、ワクチン接種後の生活様式や市の施策について議論を進めていきます。

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎8278)

以下の感染防止対策に 引き続きご協力ください

- 手洗い・消毒や換気、マスク着用、三密回避などの基本的な感染防止対策を徹底してください
- 毎日検温を行い、発熱や風邪症状がある場合は出勤・登校・外出を控えてください
- 大人数や長時間の会食は控えてください
- ワクチン接種完了後も、感染防止対策を継続してください

※発熱がある場合などの相談先については、19ページで確認してください

ケアラー支援に関する 条例を制定

家族やきょうだいの世話をする人が
自分らしく生きられる社会へ

9月9日、総社市ケアラー支援の推進に関する条例を制定しました。市は、全てのケアラーが孤立することなく、自分らしく生きられる社会の実現に向けて取り組んでいきます。

問い合わせ こども課子育て支援係 (☎8268)

ケアラーとは・ ヤングケアラーとは

ケアラーは、介護や看病、療育などが必要な家族や身近な人を無償で世話をすることです。ヤングケアラーは、本来大人が担うような家族の介護や世話などを行っている18歳未満のケアラーを指します。

ケアラーには、身体的・精神的・経済的に大きな負担がかかっており、孤立化や離職、心身の不調などが全国的な問題となっています。ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や過度の負担により、学校生活や社会生活に影響を及ぼすケースもあり、支援の強化が求められています。

【ヤングケアラーの例】



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

家族に代わり幼いきょうだいの世話をしている

障がいや病気のある家族の世話や見守りをしている

※日本ケアラー連盟の資料などを基に作成

中学生ヤングケアラー は約17人に1人

昨年12月から今年2月にかけて、厚生労働省が中高生約1万3000人に対して実態調査を実施。中学生の約17人に1人(5.7%)、高校生の約24人に1人(4.1%)が家族の世話をしていることが分かりました。内容は、食事の準備や洗濯、きょうだいの世話や保育園への送迎など。中には、平日1日あたり7時間以上を世話に費やしているという生徒も1割程度いました。

条例を皮切りに 本格的な支援へ

ケアラー支援に関する条例では、全てのケアラーが自分らしく健康で文化的な生活を営むことができる地域社会の実現を目的に、ケアラーを社会全体で支えることを定めています。特にヤングケアラーについては、適切な教育の機会を確保し、心身の健やかな成長や発達を図ることを基本理念としています。まずは学校関係者や保護者などへの広報・啓発を進めた上で、ヤングケアラーの実態を把握し、専門家の意見を取り入れながら具体的な施策を検討していきます。